

～川と人、人と人をつなぐ～

河川レンジャー 淀川管内 RIVER RANGER News

【発行責任者】
淀川管内河川レンジャー事務局
TEL :072-861-6801 (平日9時～17時)
〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32

淀川管内河川レンジャー 検索

平成27年10月発行
No.33

【撮影地】木津川
木津川開橋付近で魚とり体験



淀川管内河川レンジャーって？

流域の皆さんと行政が一緒になって淀川・宇治川・桂川・木津川をより良くしていくため、多くの方が川のファンとなり、川のことを考え、行動していただけるよう、川に関する様々な活動を行い、川と地域と行政を結ぶコーディネーター（橋渡し役）です。

こんにちは、福島出張所です。今回は、最近所内で少しばかりどよめきがあった事案について、ご紹介したいと思います。

この黄色い花、とてもかわいいですね。「①オオキンケイギク」という名のこの花、5月半ば頃から咲き始めましたが、私たちはある思いを込めて、このお花を刈りました。

その翌日から・・・「なぜこんな綺麗でかわいい花を刈っちゃうの」「散歩中の楽しみにしていたのに」「子供がショックを受けて」「悪意を感じる」「なんか職員みたいな人が刈ってたけど？」とのご意見が・・・

それでも、私たち河川管理者は刈っていくのです。

その理由は、このお花、実は「※特定外来生物」に指定されているからです。「淀川・日本の環境を守るため、特定外来生物であるオオキンケイギクを駆除

したので」と説明をすると、納得される方がほとんどでしたが、私たちが行った管理の反響の大きさに驚きました。

淀川下流域には、他にも特定外来生物が生息しています。我々河川管理者が特に気を付けてみている生物は、②ヌートリアです。穴を掘る性質があるので、堤防を弱体化させるおそれがあるからです。駆除するまでには至っており、「餌を与えないで下さい」という看板を設置しています（駆除するには、市町村長の許可が必要です）。

オオキンケイギクもヌートリアも、見た目は愛らしい姿です。しかも元々人間が持ち込んだせいなのに悪者扱いされて、少しかわいそうな気がします。が、本当にかわいそうなのは、すみかを奪われ命を脅かされる「在来生物」であること、そして河川管理者として守らなければならぬ命があることを肝に銘じて、今後も対応したいと思います。

出張所の窓辺から vol. 21

淀川管内に8つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は福島出張所です。



②ヌートリア



①オオキンケイギク

※特定外来生物とは？

（要約）海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物であって、我が国に本来の生息地又は生育地を有する生物（在来生物）の生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして、環境省が指定している生物。

地元の方々の反応を受けて、現地に理解を求める看板を設置しました。

イチオシ いきもの

第4回 枚方のいきもの

枚方出張所管内河川レンジャー 玉井 理恵





「へ」の字の形をしたハスの口



オйкаワ

鮮やかな婚姻色のオйкаワのオス



ハス

【オйкаワとハス】

観察会や生き物調査では、参加者が新しい発見に感動される場に立ち会えます。オスの鮮やかな婚姻色が目を引くオйкаワは老若男女問わずダントツの一番人気です。婚姻色がなくとも、腎（しり）びれの形も特徴的で見分けやすい魚です。

一方、ハスは成長すると体長30センチ以上（オйкаワは15センチ程度）になり、相当にかたい風貌となるので、オйкаワと間違えることはありませんが、幼魚の頃はオйкаワそっくりです。投網を使った調査で、オйкаワとハスが一緒に採れると、注意して同定しないといけません。見分けるポイントには、口の形です。ハスの口は「へ」の字型と覚えてください。肉食性のハスは、この口で獲物をガツリ噛んで、逃がしません。

さて、オйкаワとハスでややこしいのは、その呼び名。淀川流域ではオйкаワのことを「ハス」と、ハスのことは「ケタバス」と呼ぶのです。釣り人から話を聞くとときは、混同しないようにこのことを覚えておいてください。

国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひご利用ください。

パソコン <http://www.river.go.jp/>
携帯 <http://i.river.go.jp/>



河川レンジャーの情報は、ホームページでもご覧いただけます。

淀川管内河川レンジャー 検索

<http://www.river-ranger.jp/>



特集

1 淀川の魅力をもっと知ろう！ 淀川遺産を訪ねて

宇治川編

淀川流域には先人たちが残した数多くの歴史的、文化的な遺産があります。名付けて「淀川遺産」をご紹介します。

京阪電鉄「中書島駅」を降りて、伏見港公園を歩くことおよそ10分。橋を渡り、濠川の流れてそって下流へ歩くと、大きな門が目に入ります。これが三栖閘門、宇治川地域が誇る「淀川遺産」です。

陸上交通が発達していなかった江戸時代から明治時代には、京都と大阪を結ぶ輸送・移動手段として、淀川の舟運が重要な役割を果たしていました。その流通拠点となっていた伏見港は「京都の玄関口」として繁栄していました。幕末を描いたドラマに伏見がよく登場するのはこのため、坂本龍馬が襲撃された寺田屋もここ伏見の船宿です。

当時、重要な河港だった伏見地域を水害から守るため、大正7年、宇治川右岸親月橋から三栖までの区間に堤防が築かれました。伏見港と宇治川との船の通航を確保するため、三栖に洗堰と閘門を造り、伏見港と本川を結ぶ工事が進められました。こうして1929年(昭和4年)3月31日、宇治川と濠川との合流点に三栖閘門が誕生しました。



建設費用は30万1241円13銭といわれ、当時の大卒初任給が約70円と言われる時代です。莫大な額でした。完成した年には、早くも2万隻以上の船が閘門を通航するなど、経済・文化の発展に大きく寄与したと言われています。

しかし次第に陸上輸送が物流の主力となつていき、洪水を防ぐための宇治川改修や天ヶ瀬ダム完成により宇治川の水位が低下し、ついに三栖閘門はその役割を終えることとなりました。

老朽化した三栖閘門ですが、保全対策工事が行われ、隣接して設置された三栖閘門資料館とともに、平成15年に伏見の歴史・文化を伝える重要な拠点として生まれ変わりました。歴史的土木遺産としての評価も高く、土木学会が選奨する土木遺産にも認定されています。



特集

3 迫り来る脅威から 身を守るために 災害を学ぼう！

「南海トラフ地震」とは、近い将来発生すると予測されている、日本列島太平洋沖の広い範囲を震源とする巨大地震のことです。

淀川流域では、震度6弱以上の強い揺れが予想される地域も多く、また、大阪市では津波による浸水被害を受ける地域も想定されています。

大阪は海面より低い土地が多いため、高潮や津波にたびたび苦しめられてきました。水都大阪のにぎわいを支えるために、まちを守る様々な取り組みが進められています。

「津波・高潮ステーション」は、津波・高潮が発生したときの西大阪地域の防災拠点となる施設ですが、ふだんは津波・高潮災害に関する豊富な資料の展示が行われています。また、津波災害体感シアター(ダイナミクス)では、津波災害を、音と映像によって実際に体験することが出来ます。

近い将来にかならず起こる東南海・南海地震による津波への対策を学び、災害への備えの大切さをぜひみなさんの心に刻んでください。



高潮の被害を学ぶ



津波災害体感シアター



津波・高潮ステーション

住所 〒550-0006 大阪市西区江之子島2-1-64
電話番号 06-6541-7799
ホームページ <http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/index.html>
開館時間 10時から16時まで
休館日 火曜日(祝・休日の場合は翌平日)、年末年始
入館料 無料
交通のご案内 大阪市営地下鉄 阿波座駅(中央線・千日前線)10番出口より徒歩約1分
※公共交通機関をご利用下さい。 ※館内は飲食禁止・敷地内は禁煙です。

特集

2 宇治川・桂川で活躍する 河川レンジャーたち

宇治川・桂川で活動を行っている河川レンジャーを紹介いたします。地域の皆さんに川のことを知っていただき、これからの地域と川のことを一緒に考え、行動していただけるように様々な活動を行っています。河川レンジャーとともに、あなたも川で活動してみませんか？

居原田 晃司
河川レンジャー

子どもの自然体験活動に役立つ宇治川川遊び安全マップをつくり、マップ普及に向けた提案をしています。

【主な活動内容】
・東高瀬川クリーンアップ活動
・川の生きものガサガサ調査隊
・川遊び安全マップ作成のための調査活動

谷口 順彦
河川レンジャー

アユなどの淡水魚の復活と保全を目指して、河川環境の改善策を提案していきます。

【主な活動内容】
・アユ復活のための調査活動
・魚釣り体験

中村 初太郎
河川レンジャー

宇治川の魅力や歴史を多くの人に伝え、ヨシをシンボルとし、地域に親しまれる宇治川を実現していきます。

【主な活動内容】
・小学校出前授業「宇治川を知ろう」
・ツバメの帰入り観察会
・宇治川と支流(山科川、東高瀬川)の水質調査

東親志
河川レンジャー

桂川周辺地域の方と一緒に、豊かな河川環境の現状を把握し、問題点や課題について考えていくなかで、多くの方に桂川の魅力を伝えていきます。

【主な活動内容】
・治水・防災学習会「桂川における河川整備計画および治水・防災対策について」
・環境学習会「桂川の豊かな自然環境を知ろう」

松方 隆
河川レンジャー

水辺を歩き、川に入り親しむ中で、桂川の自然の豊かさや楽しさを知るとともに、親水性に目をむけた河川整備を知り、利水、治水などの川の大切さに目を向けてもらう機会をつくっていきます。

【主な活動内容】
・自然観察会「小泉川の水生生物を調べ、川の水質や環境を知ろう」
・小学校出前授業「流れる水のはたらきと河川工事(護岸や河床)」
・市民向け学習会「川とわたしたちの生活」

河川をより身近に感じ、 みんなで住み良い 地域を目指して...

COLUM



山崎出張所管内
河川レンジャー
福嶋 保雄

2年前、普通に地域住民、サラリーマンとして、平凡な毎日を過ごしていましたが、ふと、何かの拍子にゴールデンウィークに立ち寄った役場での、6月に実施される『淀川発見講座』の案内を見て、(へえ、淀川の歴史や、大事な事とか教えてくれるんやー！)で、河川レンジャーってどんな仕事なんかなーと、今まで聞いた事も無いし、レンジャー活動に興味を持った事がレンジャーへの初めの一歩でした。

『淀川発見講座』に続き、中々面白そうなので、土日の都合を考慮しながら、『レンジャー養成講座』を受講。(何か地域のこれからの役に立つのでは?)と感じ、河川レンジャーへ応募してみました。その後の新年度でのレンジャー活動の仕事は地元である島本を軸に置いて、地域で過去にレンジャー活動が無く知名度がほとんど無かった事から、いかに多くの人に参加してもらえぬかを考え実施をしました。具体的な活動としては、鞆殿のヨシを用いた『ヨシ笛』づくり、島本が誇る名水百選の水の源の水無瀬川の『水質調査』、地域のイベントとして

皆さんに参加してもらえぬ川の清掃活動『桂川流域クリーン大作戦』を三川合流部の島本町への展開・啓発川の特長・減災防災についてみんなで考えてもらう活動『地域で考えよう、防災セミナー』など、地域の方々と、行政のご支援を頂きながら実施する事が出来ました。

昨年は、無我夢中で活動を行うのが精一杯でしたが、今年は、皆さんと共に、地域で活動が定着する様に、もう一工夫しながら、楽しくやって行ければと考えております。これからも河川レンジャーにご理解とご協力をよろしくお願い致します。

地域の皆さん、まずは『参観から、参加しよう』を合言葉に、ぜひご参画していただけるよう頑張ってみます。ご意見があれば遠慮なくお申し付け下さい。